



「和菓子」の支出

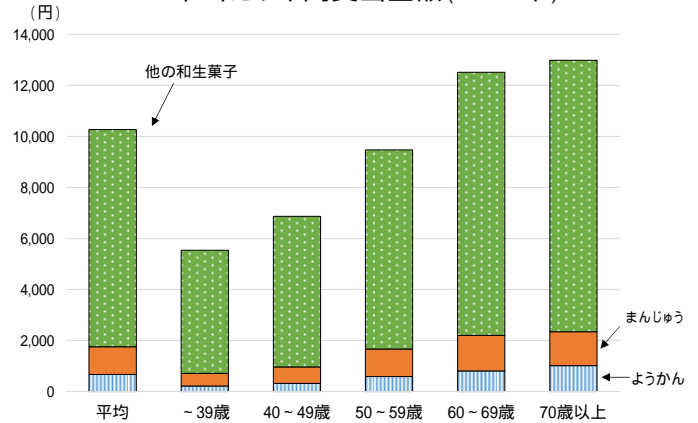


- 家計調査結果より -

6月16日は「和菓子の日」です。1979年に全国和菓子協会が制定しました。西暦848年（承和15年・嘉祥元年）の夏、仁明天皇が御神託に基づいて、6月16日に16の数にちなんだ菓子、餅などを神前に供えて、疫病を除け健康招福を祈誓し、「嘉祥」と改元したという古例にちなむとされています。そこで今回は、「和菓子」注の支出について、家計調査（二人以上の世帯）の結果から見てみましょう。

注 和菓子…「ようかん」、「まんじゅう」、桜餅やたい焼きなどの「他の和生菓子」を合計したもの。

図1 「和菓子」の世帯主の年齢階級別
1世帯当たり年間支出金額(2018年)



70歳以上の「和菓子」の支出額は39歳以下の2.3倍

まず、世帯主の年齢階級別に「和菓子」の年間支出金額をみると、世帯主の年齢が高い世帯ほど支出金額が多くなっており、70歳以上が12,982円と最も多く、最も少ない39歳以下の世帯（5,537円）の約2.3倍となっています（図1）。

年間支出金額は10年前に比べ減少

次に、1世帯当たり年間支出金額の推移を見てみると、年々減少傾向にあり、10年前の2008年（12,172円）に比べ、2018年（10,268円）は約16%減少しています（図2）。

図2 「和菓子」の1世帯当たり年間支出金額の推移(2008~2018年)

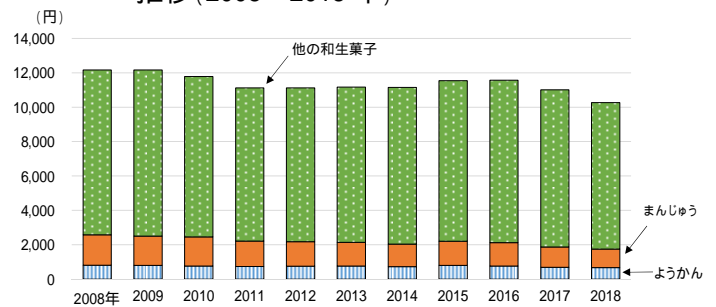
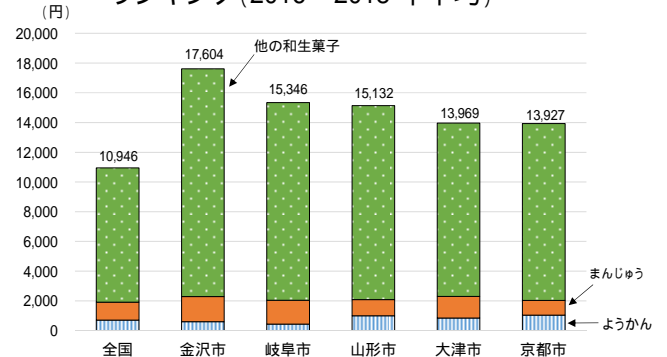


図3 「和菓子」の1世帯当たり年間支出金額の都道府県庁所在市及び政令指定都市別ランキング(2016~2018年平均)



年間支出金額は金沢市が1位

最後に、「和菓子」の1世帯当たり年間支出金額を都道府県庁所在市及び政令指定都市別にみると、金沢市が最も多く、次いで、岐阜市、山形市、大阪市、京都市となっています。金沢市の年間支出金額は全国平均の約1.6倍となっています（図3）。